

## 平成29年度 第24回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成 29 年 12 月 20 日 (水) 14:35～

場所：理学部 E211 講義室

講師：三谷 幸之介先生

(埼玉医科大学ゲノム医学研究センター遺伝子治療部門)

演題：遺伝子治療の復活とそれを支えるベクター技術

要旨：遺伝子治療は 1990 年に初めて米国で臨床試験が行われて以来、遺伝病などに対する理想的な治療法として大きな注目を集めてきた。そして、2000 年に初めて重症免疫不全症で明らかな治療効果が報告されたが、その一方で一部の患者で白血病が発症し、この分野全体が下火となった。しかしその間にも、レンチウイルスやアデノ随伴ウイルス由来の新規ベクターの開発など、基礎研究は着実に進められていた。その結果として、最近になって様々な遺伝子治療薬が欧米で承認されるに至り、ようやく花開き実を結びつつあると言える。本セミナーでは、現在の成功の最大の要因であるベクター技術の観点から、遺伝子治療の現状についてお話ししたい。

数理分子生命理学セミナー世話人 坂本 尚昭 (内線 7447)

今回のセミナーは(5研究科)共同セミナーとして認定可能です